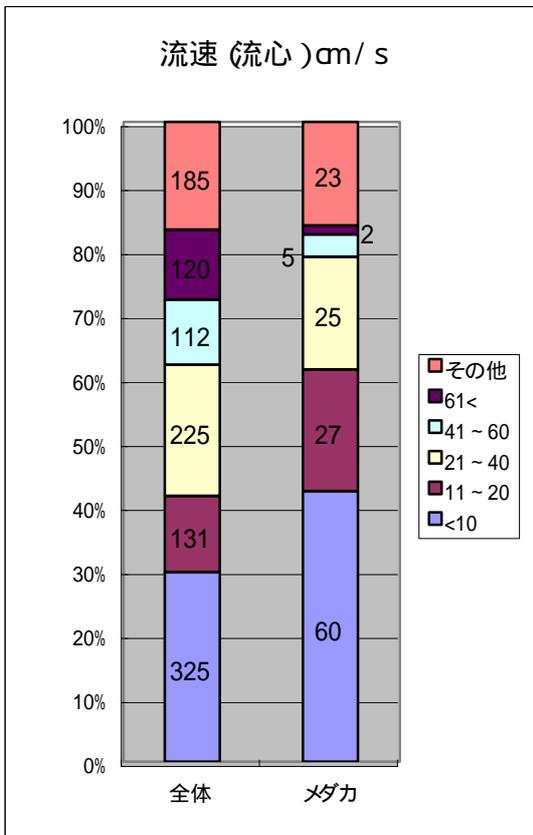


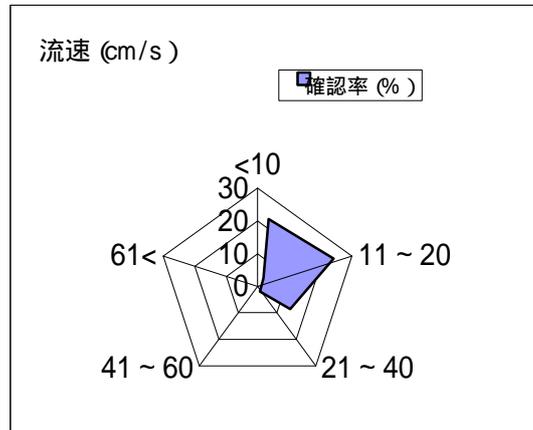
調査結果 . 2 魚類確認地点における生息環境の傾向 (メダカの例)

(全体調査地点 : 1098 メダカ確認地点 : 142)

(1) 流速

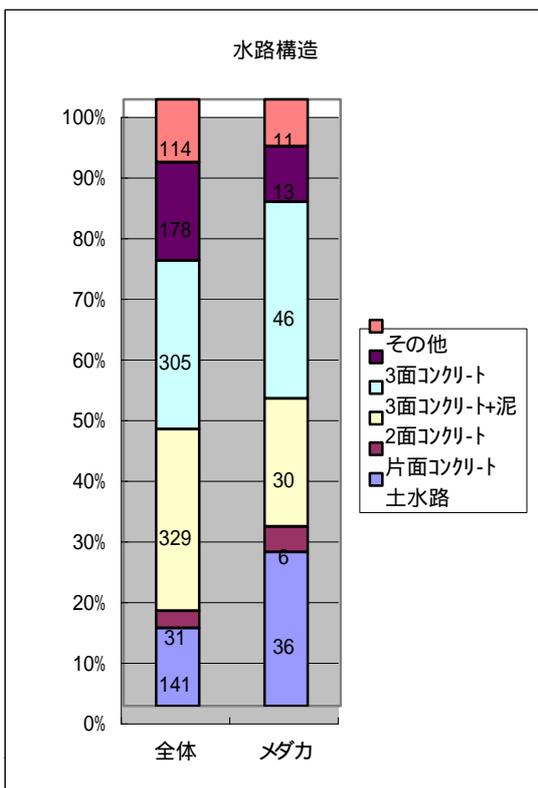


調査地区全体に対するメダカ確認地区割合
(母数が90以上のデータ数を対象)

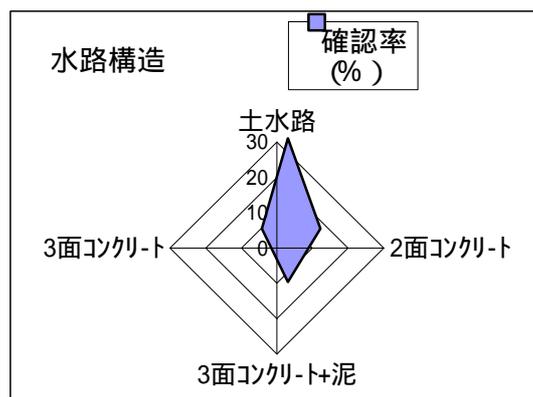


流速 20 cm/秒以下の緩やかなところに、生息率が高い。

(2) 水路構造



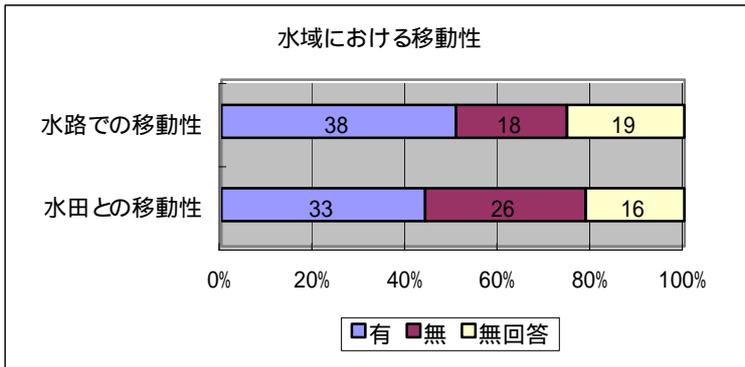
調査地区全体に対するメダカ確認地区割合
(母数が90以上のデータ数を対象)



土水路、泥の堆積したコンクリート水路での生息率が高い。

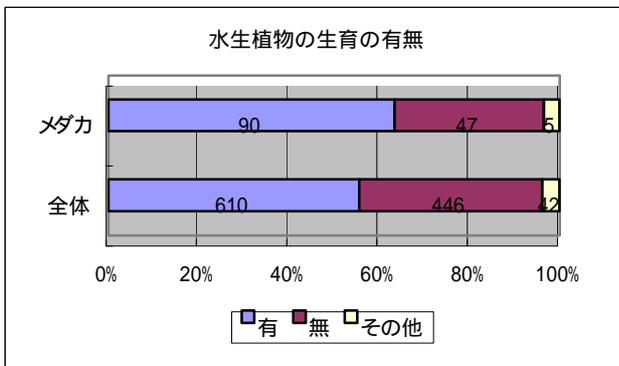
(3) 水域における移動性

(個別回答数 75)



水路間での移動を遮るもの（落差工や堰）がないところでの生息率が高い。

(4) 調査した水路における水生植物の有無



水生植物のあるところでの生息率が高い。